



先輩たちからのエール

この創学舎ニュースが届くのは県公立高校入試直前。そこで、最後の激励にと思い、先輩たちからのメッセージを掲載することにしました。少しでも受験生の皆さんの力になれば幸いです。



◇各教科の副教材を進めて丸の数が増えていくにつれ、どんどん力がつき、これだけの量をこなしたことで自信もつけることができました。

東葛飾高校合格 W・Nくん

〔我孫子教室〕

◆受験前、すごく不安なときに今まで問題を解いてきたノートを見ると、とても安心しました。今までやってきたことは無駄じゃないと思えました。

県立柏高校合格 S・Kさん

〔我孫子教室〕

◇入試直前のV模擬まで志望校判定はずっとD判定でした。しかし、副教材をやり込んだおかげで入試では苦手の英語で九十点台を取ることができ無事合格することができました。

小金高校合格 K・Hさん

〔江戸川台教室〕

◆今頑張っていることは必ず力になります。くじけそうになったときは喜ばせたい人を思い浮かべてください。自分を信じて、努力を信じて、最後まで走り抜けてください。

小金高校合格 A・Tさん

〔江戸川台教室〕

◇試験中「ああ、これは授業でやったなあ」「この問題、あの過去問と同じだなあ」といろんなことを思い出しました。改めて一つ一つの問題を丁寧に解くことが大切だと感じました。

東葛飾高校合格 S・Mさん

〔柏教室〕

◆私は最後のV模擬でも志望校がD判定でした。それでも合格できたのは、一日九コマ授業で培われた体力と精神力、そして、得点につながる勉強を創学舎が教え続けてくれたからです。

東葛飾高校合格 I・Gくん

〔柏教室〕

◇国語の点数が思うように伸びなかったとき、「しっかりと根拠を持って選択肢を削除する」と教えられたことを実践すると得点が伸びるようになりました。

県立柏高校合格 Y・Sさん

〔新柏教室〕

◆入試は苦しくて大変なものだったけれど、努力する力をつけることができました。今まで頑張ることができて本当に良かったです。

東葛飾高校合格 K・Kさん

〔新柏教室〕

◇創学舎はわからないところをすぐに質問できる環境が整っているので、自分の苦手分野から目を背けなければ、どの教科でも高得点が取れるはずですよ。

県立船橋高校合格 M・Kくん

〔新松戸教室〕

◆一緒に切磋琢磨して頑張れる仲間たちがいたからこそ、最後まで諦めずに頑張れました。創学舎は私の誇りです。

東葛飾高校合格 S・Kさん

〔新松戸教室〕

◇周りからは合格は厳しいと言われてきました。しかし、家族や先生方の励まし、自分の思いと努力がそれをはね返したのだと思います。努力は必ず報われる。初めてそう感じました。

県立柏高校合格 M・Aさん

〔パーソナル我孫子教室〕

◆受験が近づいて精神的にも身体的にも苦しい時期に励ましてくださったり、受験本番でプレッシャーに負けないようにするコツを教えてくださいました。先生方のお陰で納得のいく結果を出すことができました。

県立柏高校合格 T・Fくん

〔パーソナル我孫子教室〕

◇模試の結果は最後まで第一志望はC判定でしたが、一人で悩むことなく受験勉強を続け合格できたのは先生方の支えがあったからこそだと思います。

東葛飾高校合格 K・Hさん

〔パーソナルおおたかの森教室〕

◆模試ではD判定やE判定ばかりでしたが、最後まで諦めず頑張つて良かったです。指導してくれた先生方、励まし続けてくれた友達、協力し続けてくれた親にとっても感謝しています。

県立柏高校合格 T・Yくん

〔パーソナルおおたかの森教室〕

◇入試直前には過去問に特化した指導をしてくださいました。点数を上げるために何をすべきかわからなかったのですが、授業ごとにアドバイスをしていただいたおかげで点数を伸ばすことができました。

小金高校合格 K・Hさん

〔パーソナル柏教室〕

◆苦手だった理科は先生のアドバイスどおりテキストを何回も解きました。一日三コマ理科があったときはとても大変でしたが、おかげで入試では五教科の中で一番高い点数が取れました。

県立柏高校合格 A・Kさん

〔パーソナル柏教室〕

集団知⑧

●集団知の続きである。

●今年度は、コロナの影響で回数が少なくなりましたが毎年千回以上、生徒面接を続けてきた。成績のいい生徒も、その人なりに学習面、精神面で何かしらの悩みや問題をかかえていることが多い。ましてや成績がおもしろくない生徒は、

「まずやること、続けることを始め、問題だらけである。」

●授業だけでは、とても指導しきれず、面接を重ねてようやく、少しは光が見えてくる。しかし何とか伸ばしてあげたいと思う中でいかんともしがたいこともある。

●ところで、今は高校生だけを相手に授業をしているが、昔は小五から高三まで続けてみていた。八年間ずっと教えていた生徒も少なくない。

●兄弟姉妹全員来て、結局二〇年近くお付き合いましたご家庭もある。こんな経験は学校の教師ではまずできないだろう。民間の教育機関でも稀かもしれない。

●親は、何とか自分の子供を伸ばしてほしいと願っていて、その思いはびしびし伝わる。微力だがその思いに応えるために色々試行錯誤をしてきた。数多い面接もその一つである。その中で私がたどりついた成績が伸びない生徒の特徴がある。教育や学習関係の本にも私が見る限り書いてないので仮説ではあるが。

●苦手な生徒は、とにかく書くのが遅い。とんでもない鉛筆の持ち方しているのが多い(親も教師もよくほつておいたなと思う)。板書を写す時も、顔を上げて板書を見る回数が多い。メモをとる時、どういう字か考えて中断したりする。そもそも書くこと



そのものを面倒くさいと思っている。話をきけない。顔は向けているが、今説明した基本的なことを質問しても答えられない。一方で、板書を写すのが精一杯で聞くことまで手が回らない。意味がわからない漢字をひたすら書いたりする。読めない単語の訳を覚えようとする。(その訳

漢字の意味が分からなくても平気である。)わからない言葉があっても絶対に調べない。語いがない。勿論、本は読まない。日本語の文章を音読させても下手である。安易である……。

●まだまだ書ききれないぐらい出ている。さて、今述べたことを改めて読み直していただきたい。

●そうすると気付くはずだ。そう、すべて小学生のときに身につけておくべき能力、習慣なのである。小学生に例えば英語を教えているときは、この能力習慣が身につけていない子を一人前にするのに必死であった。ひたすら音読すること、英文を(アルファベットも)書いて書きまくること。上位の生徒は本人にまかせたが(それでも他の人に負けじとやるのだ、下位の生徒には、毎日何ページとかやらせた。当然、目的も伝えていた。「①書くことに慣れ、書くことを面倒に思わなくなる②書くスピードを上げる③基本的な英文を音・スペル・意味・文法を含めて、人に説明できるぐらいいたたきこむこと」

●あの日々がなつかしい。高三になって入塾して先述のような特徴を複数もっている生徒が少数だがいて、実に大変である。何とか頑張っ

てみるが……。●こういうことに気付かず、教える立場にいる人はきつと多いだろう。生徒は一年か二年で、自分の手を離れていくのだから。私も同じ状況では気付かなかつたかもしれない。同じ生徒達を何年も続けて見ることができたからこそ分かったことである。塾に行くとかチャ○○○をやるとかの問題である。

(小林)

今年度 私立高校入試状況 (2021年1月27日現在 抜粋版)

芝浦工大柏	9	麗澤	7	流通経済大付属柏	41	中央学院	39
専修大学松戸	18	獨協埼玉	1	駒込	12	和洋国府台女子	2
江戸川学園取手	6	國學院	1	二松學舎大学附属柏	45	光栄VERITAS	3
開智	3	成田	1	京華女子	1	西武台千葉	11
茗溪学園	1	春日部共栄	8	日本大学第一	1	常総学院	3
日本大学第二	1	土浦日大	35	東海大浦安	2	日本体育大学柏	21
日大習志野	2	東洋大牛久	46	足立学園	2	その他多数	

現中学3年生対象 「新高1準備講座」 3月実施

授業日程 (全6回)

教室	我孫子・柏・新柏・新松戸・江戸川台教室
日程	3月3日(水)～3月20日(土)
曜日	水曜日・土曜日
時間	午後6:10～9:25

高校こそ、スタートダッシュが大切!!

それぞれの高校には、同じような学力の生徒が集まるため、入学前後の学習次第で、クラストップになることも最下位の成績もあり得ます。だからこそ、適切な準備が大切です。

「新高1準備講座」では、数学(数と式)・英語(第1～5文型)・国語(古典文法)の予習を行い、高校入学前に必要な学力を養います。